

『取引のワンポイント』  
～為替・株価指数・金相場篇～

2024年12月6日

FX・CFD事業部 金澤和哉

# 移動平均線とは

■ 移動平均線は、一定期間の価格の平均を取ることで、価格のトレンドを視覚的に捉えるための指標

注目ポイント①：位置

⇒価格が移動平均線より上にあれば上昇基調、下にあれば下落基調

注目ポイント②：傾き

⇒移動平均線が上向きなら上昇基調、下向きなら下落基調、傾きがない場合はレンジ

注目ポイント③：乖離率

⇒価格が移動平均線から乖離しすぎると、移動平均線に引き戻される傾向がある

〇〇MA(〇〇移動平均線)とは  
⇒過去〇〇本分のローソク足の  
平均終値

青：21MA(21移動平均線)  
赤：75MA(75移動平均線)  
緑：200MA(200移動平均線)



# 注目ポイント①：位置

- 価格が移動平均線より上にあれば上昇基調、下にあれば下落基調



# 注目ポイント②：傾き

- 移動平均線が上向きなら上昇基調、下向きなら下落基調、傾きがない場合はレンジ



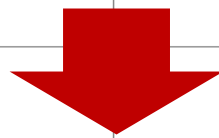
# 注目ポイント③：乖離率

- 価格と移動平均線が、乖離すると近づく傾向あり



## 課題

乖離しているか判断する事が難しい

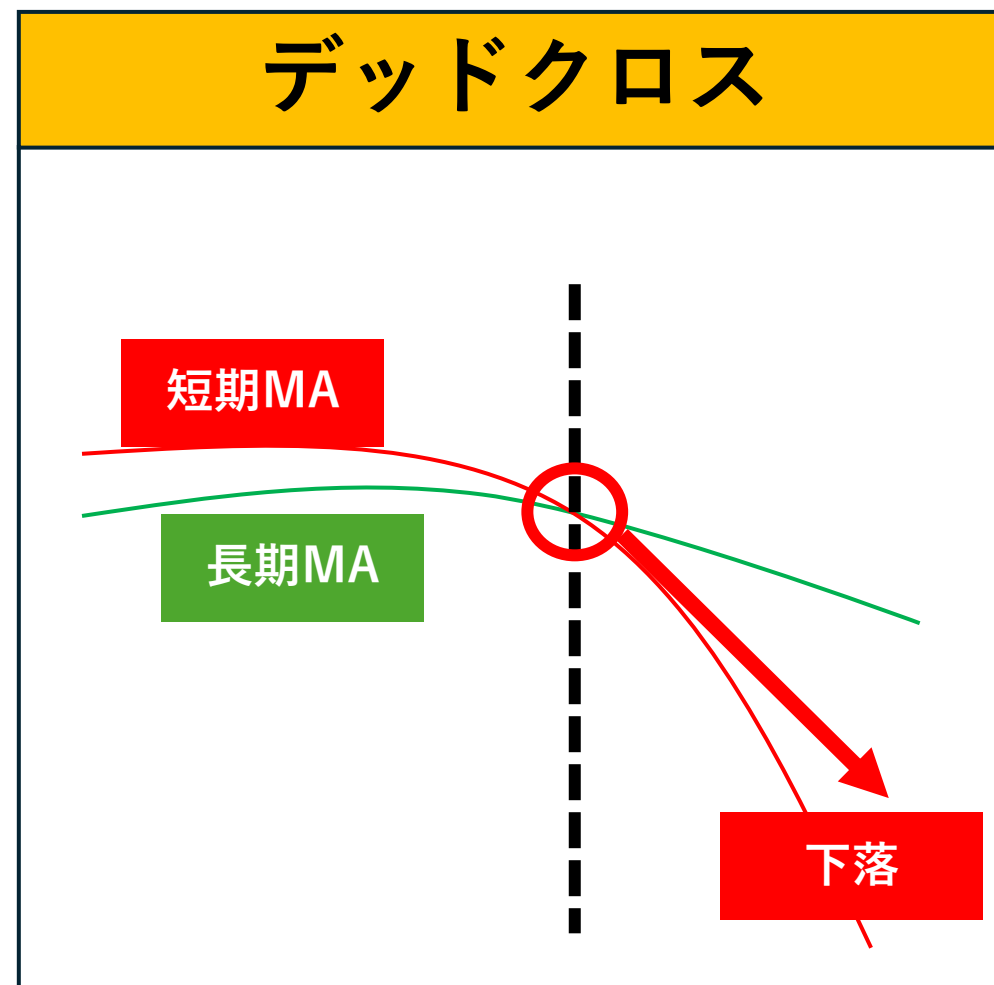
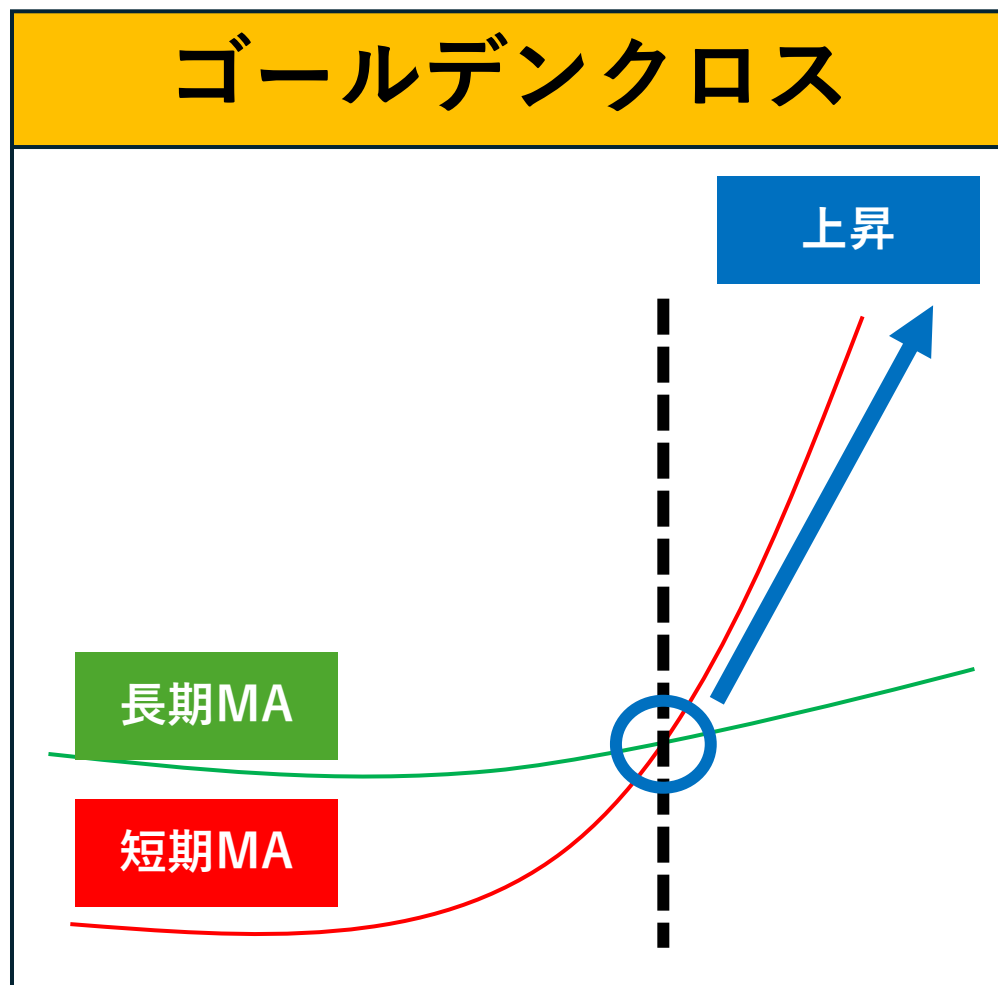


## 解決策

- ① 移動平均線の位置、傾きから、レンジ、上昇/下落基調なのかを判断
- ② ボリンジャーバンド等の別のインジケータも用いて根拠を増やす

# 複数の移動平均線の活用方法

- ゴールデンクロス：短期移動平均線が長期移動平均線を上抜ける
- デッドクロス：短期移動平均線が長期移動平均線を下抜ける



# エントリーポイント例

- (条件①) 価格が移動平均線より上の場合は買いを検討、下の場合は売りを検討
- (条件②) 移動平均線の傾きが上または下の時のみエントリーを検討 (トレンドが出来ている時のみ)
- (条件③) ゴールデン/デッドクロスをしている
  - ⇒ 上昇基調の場合：上からMAが青⇒赤⇒緑の順でならんでいる
  - ⇒ 下落基調の場合：下からMAが青⇒赤⇒緑の順でならんでいる



# 楽天CFDの取扱銘柄：世界中の資産に投資できる！

∴ 全78銘柄に投資可能！ ∴



## ■ 指数CFD：30 銘柄

米国500、日本225など

## ■ 商品CFD：18 銘柄

金、WTI原油、天然ガスなど

## ■ バラエティCFD：1 銘柄

米国VI

## ■ 株式CFD：29 銘柄

アップル、エヌビディアなど



## ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

## 店頭CFD取引にかかるリスクと費用等について

### CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

### CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

### 証拠金について

〔楽天CFD〕

取引金額に対して、指数CFDは10%以上、商品CFDは5%以上、バラエティCFDおよび株式CFDは20%以上の証拠金が必要となります。(楽天CFDのお取引は現時点では個人口座のみとなります。)

〔楽天MT4CFD〕

個人口座、法人口座ともに取引金額に対して、MT4証券CFDは10%以上、MT4商品CFDは5%以上の証拠金が必要となります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会